

弘前城石垣修理

第15回 ～大正時代の基礎補強方法～

弘前城本丸石垣修理事業に伴う令和元年度の発掘調査は、5月13日から7月29日まで行われました。今年度の調査箇所は、天守台下の根石（石垣の最下段）付近です。平成28年度の調査において、天守台下の根石付近には帯状に敷設されたコンクリートが確認されており、その前方には1m以上の大きな石が、弧を描くように列をなして並んでいました（※1）。どちらとも、内濠の水を抜いて調査する前には、濠水に隠れて見えていませんでした。

今年度は、天守台下の根石や地山（自然の地盤）の状況確認のため、帯コンクリートを残した状態で前方5地点を溝掘りし、下部の様子を調査しました。その結果、大正時代の石垣修理では、まず天守台下の根石前面に盛土をし、それを掘

り込んで石列を据え、その後石垣に密着させるかたちで帯コンクリートを敷設したことがわかりました。帯コンクリートは、根石に代わる強固な「石垣の基礎」として施工されたものと推測されます。

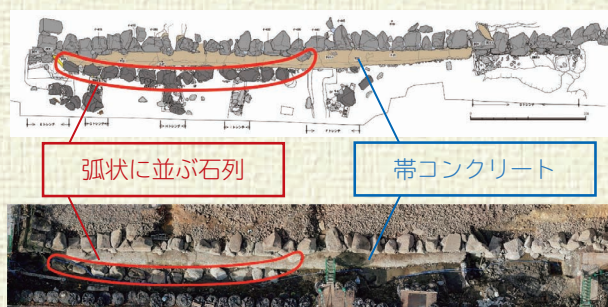
弘前図書館所蔵の「明治29年4月8日本丸天守閣石垣崩壊の図」（※2）は、当時天守台とその北側の石垣が大きく崩落・変形したことを現在に伝える資料です。帯コンクリートと石列は、図に描かれる石垣の崩壊・変形範囲内に収まるような位置に施工されています。明治29年以降、崩れた状態で長期間放置されてきた石垣を、再度強固に積み直そうとした大正時代の職人たちの工夫が感じられる遺構です。



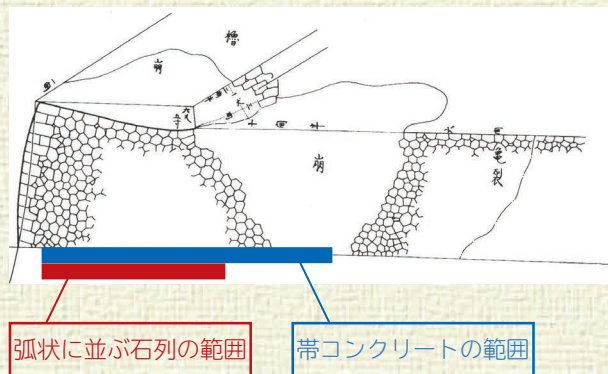
▲令和元年度の発掘調査地点（下乗橋から北を望む）



▲天守台根石付近の発掘調査風景（北から）



▲帯コンクリートと石列の平面図・航空写真（※1）



▲「明治29（1896）年4月8日本丸天守閣石垣崩壊の図」（弘前図書館所蔵）（※2）

※弘前城本丸石垣修理事業について、詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎ 33-8739）